

# 社会資本総合整備計画(事後評価)

淀川水系野洲川流域における治水対策の  
推進(防災・安全)抜本的治水対策

滋賀県土木交通部  
流域政策局

**I -1:社会資本整備総合交付金の変遷**

**I -2:滋賀県の河川整備計画**

**II :計画の目標と成果の設定**

**Ⅲ-1:基幹的対策としての河道整備について**

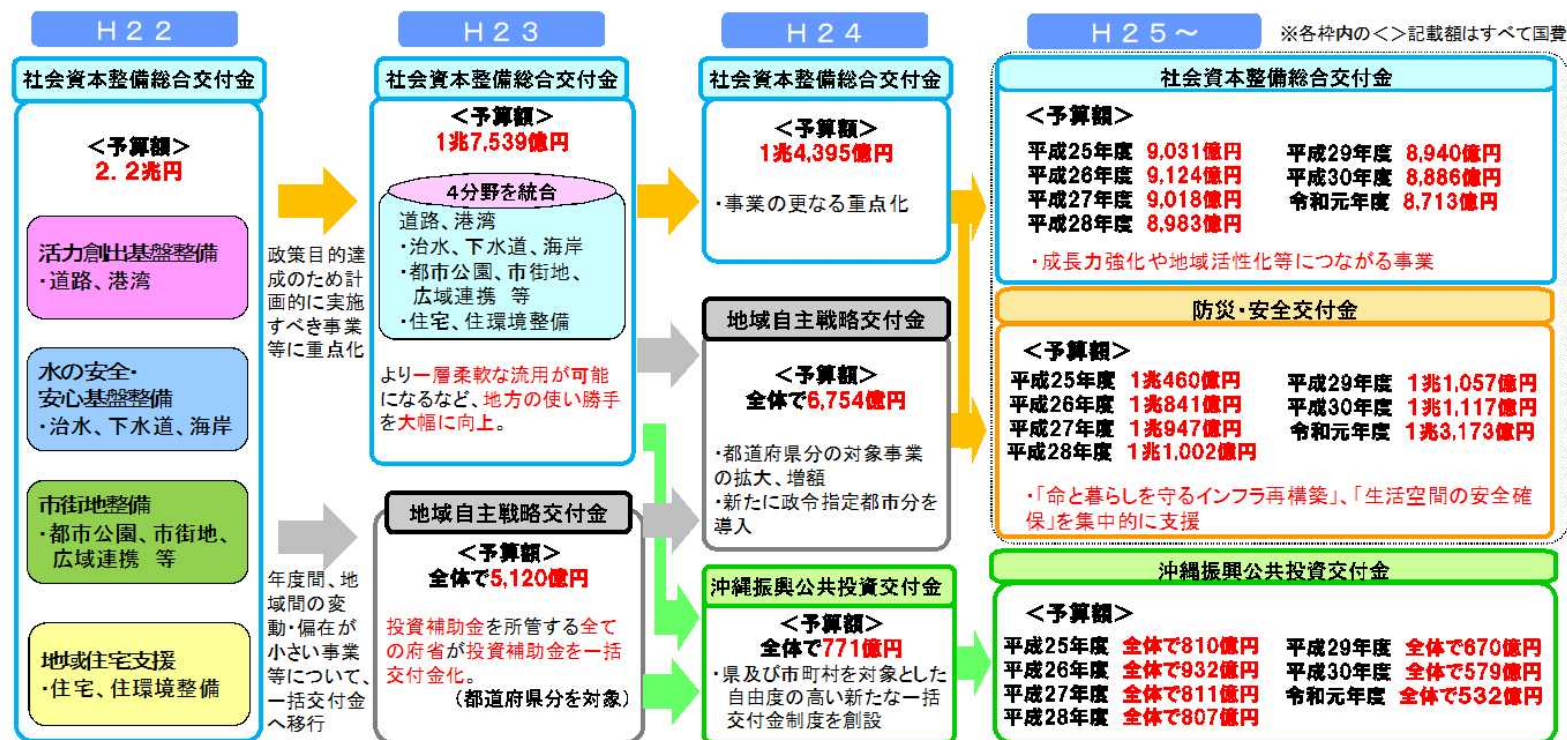
**Ⅲ-2:整備効果事例**

**IV :事業の実施結果**

# I-1: 社会資本整備総合交付金の変遷

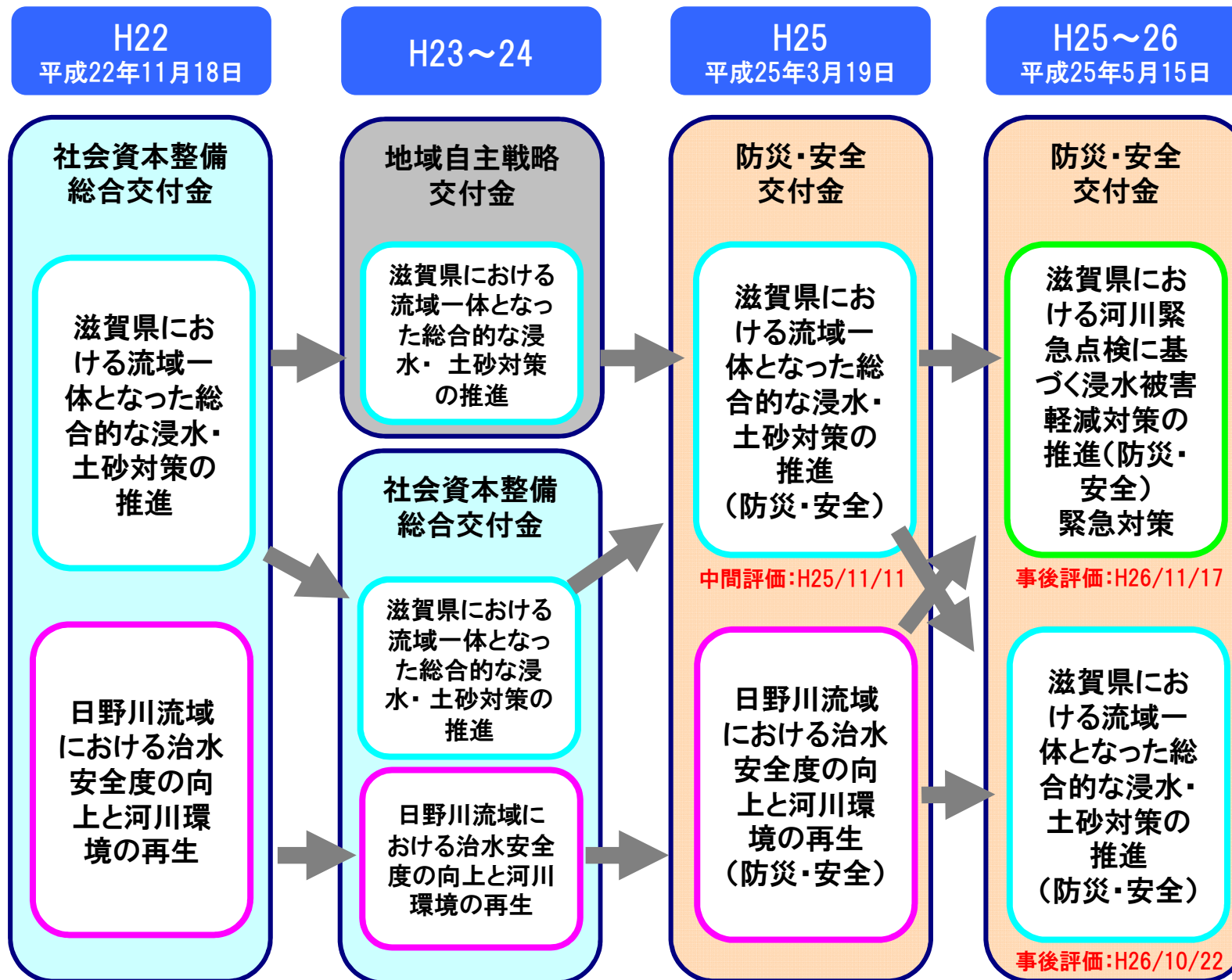


- 平成22年度に、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として、社会資本整備総合交付金を創設
- 平成23年度に、基本的に地方が自由に使える一括交付金にするとの方針の下、地域自主戦略交付金を創設（内閣府に一括して予算を計上し、各府省の所管にとらわれず、地方自治体が自主的に選択した事業に対して交付金を交付）
- 平成24年度に、地域自主戦略交付金について、都道府県分の対象事業を拡大・増額。政令指定都市に一括交付金を導入また、沖縄振興公共投資交付金として県及び市町村を対象とした自由度の高い新たな一括交付金制度を創設
- 平成25年度以降は、防災・安全交付金によりインフラ再構築（老朽化対策、事前防災・減災対策）及び生活空間の安全確保の取組を集中的に支援するとともに、社会資本整備総合交付金により地域の社会資本整備を総合的に支援（地域自主戦略交付金は廃止）

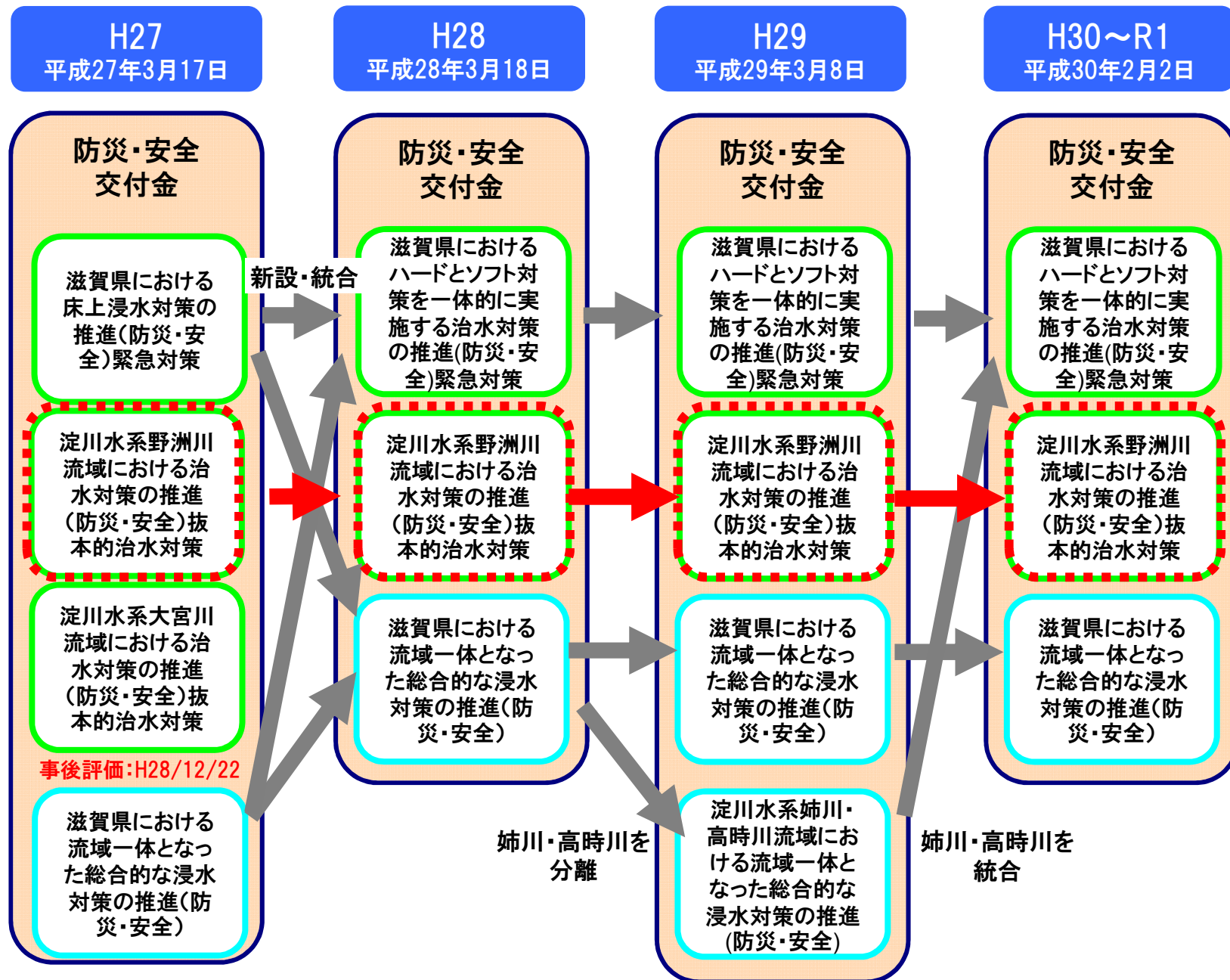


出典：国土交通省HP「社会資本整備総合交付金」

# I-1: 社会資本整備総合交付金の変遷 <滋賀県>



# I-1: 社会資本整備総合交付金の変遷 < 滋賀県 >



# I-1: 社会資本整備総合交付金の変遷 <滋賀県>



H30~R1  
平成30年2月2日

**防災・安全  
交付金**

滋賀県におけるハードとソフト対策を一体的に実施する治水対策の推進(防災・安全)緊急対策

淀川水系野洲川流域における治水対策の推進(防災・安全)抜本的治水対策

滋賀県における流域一体となった総合的な浸水対策の推進(防災・安全)

<河川改修事業>  
葉山川(中ノ井川)、金勝川、守山川、日野川、長命寺川(蛇砂川)、八日市新川、姉川・高時川、鴨川(青井川)、野洲川(杣川)、百瀬川、余呉川

<総合治水事業>  
情報基盤、水害に強い地域づくり

15河川 全体事業費 18,990百万円

<河川改修事業>  
家棟川(由良谷川)

1河川 全体事業費 670百万円

<河川改修事業>  
真野川、愛知川(不飲川)、犬上川、長浜新川、常世川(吾妻川)、藤ノ木川、高橋川、北川、家棟川(童子川)、矢倉川、大川、

<総合治水事業>  
情報基盤、水害に強い地域づくり、水防訓練

11河川 全体事業費 5,930百万円

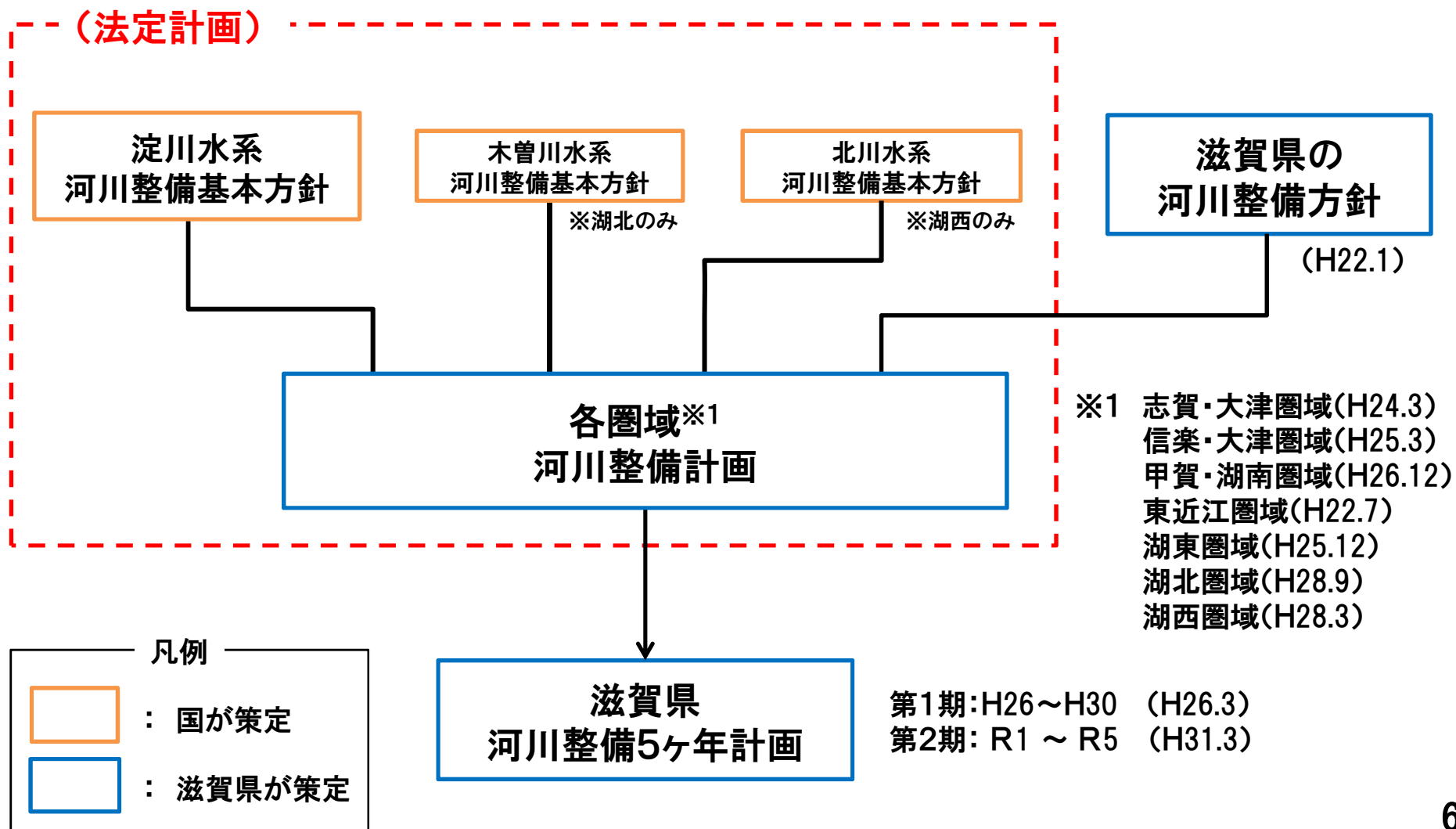
R1より、国の予算配分の考え方にに基づき移行

※下線部は、計画期間内の整備予定でないため、事業実施河川として計上していない

# I-2: 滋賀県の河川整備計画



## ○ 滋賀県の河川整備計画

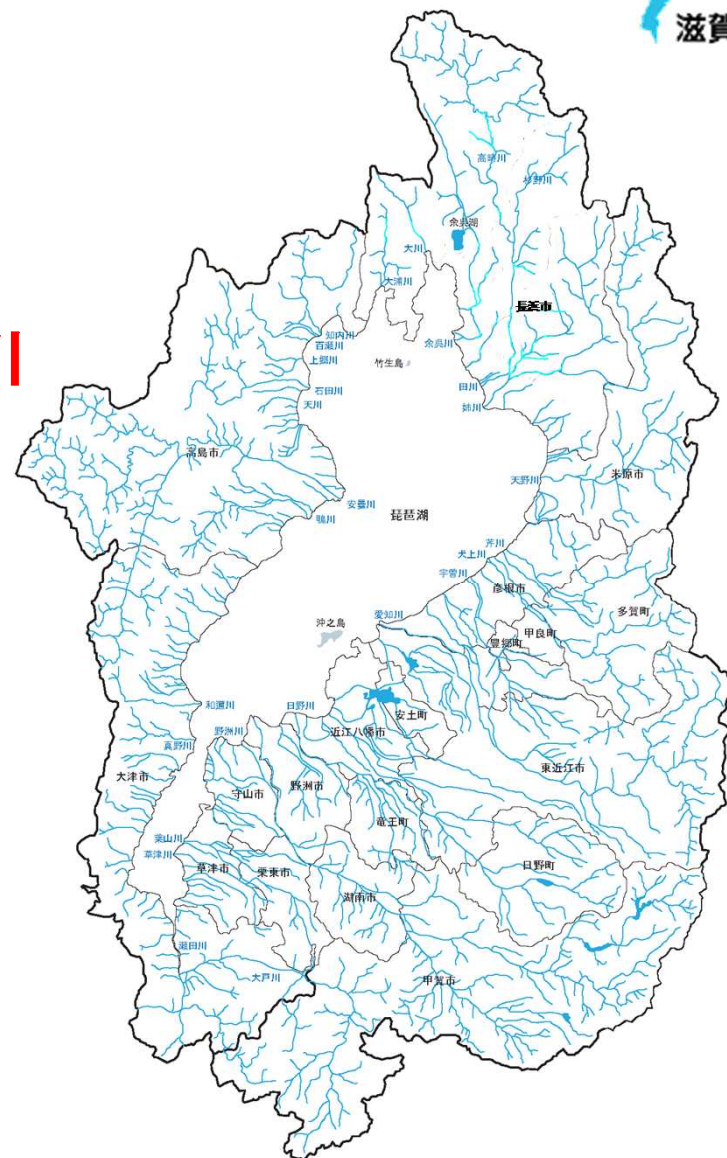


# I-2: 滋賀県の河川整備計画



## ○滋賀県の一級河川について

- 滋賀県の一級河川 **510河川**
- うち琵琶湖に流入する河川 **117河川**
  
- 流路延長 **約2,320km**
- ほとんどの河川は、流路延長が **50km未満**と短く、急峻
  
- 水源山地からの土砂流出が多く、下流域で堆積し、**天井川**の形状

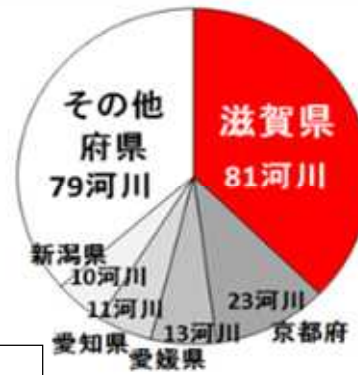
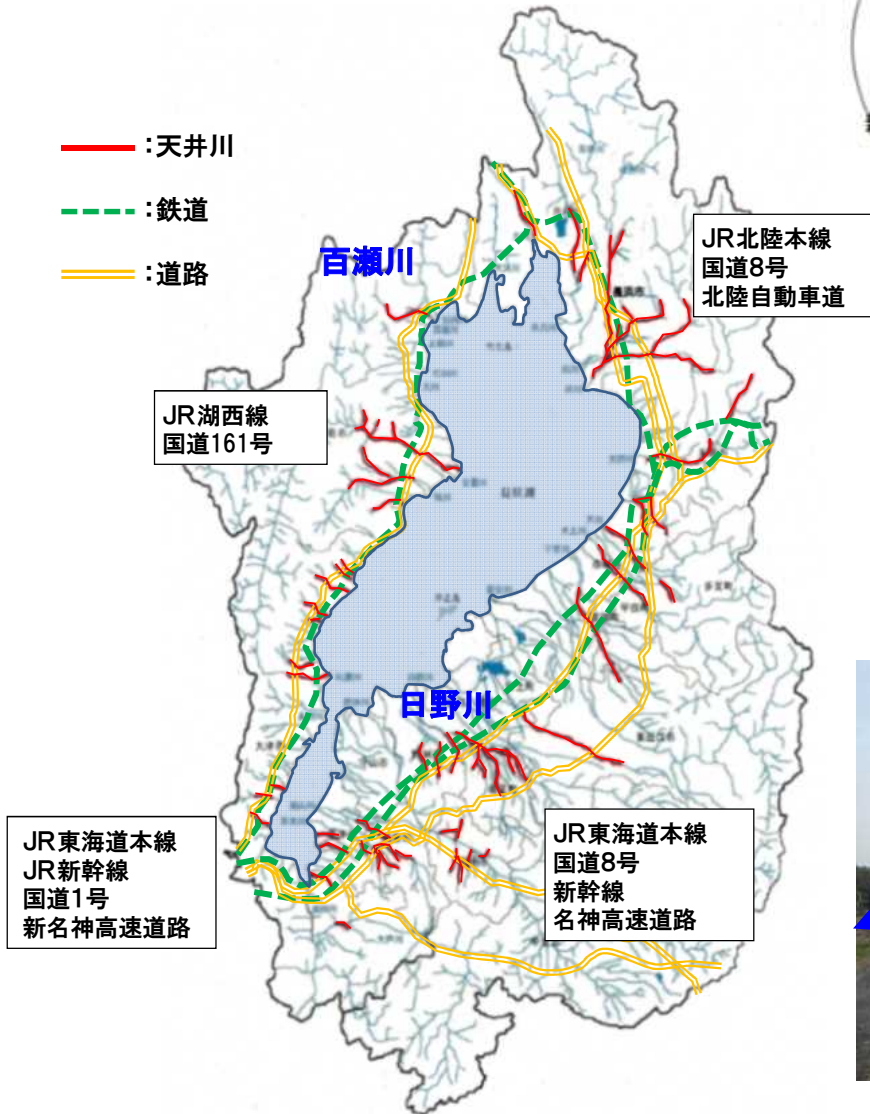




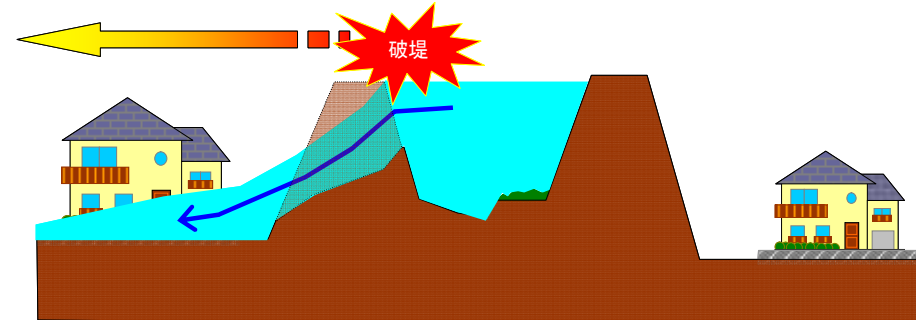
# I-2: 滋賀県の河川整備計画



## ○滋賀県の一級河川について



滋賀県の天井川の数 全国1位  
県内に81河川(全国では217河川)  
平成24年度 国交省調査結果より



※破堤した場合、甚大な被害が発生する可能性

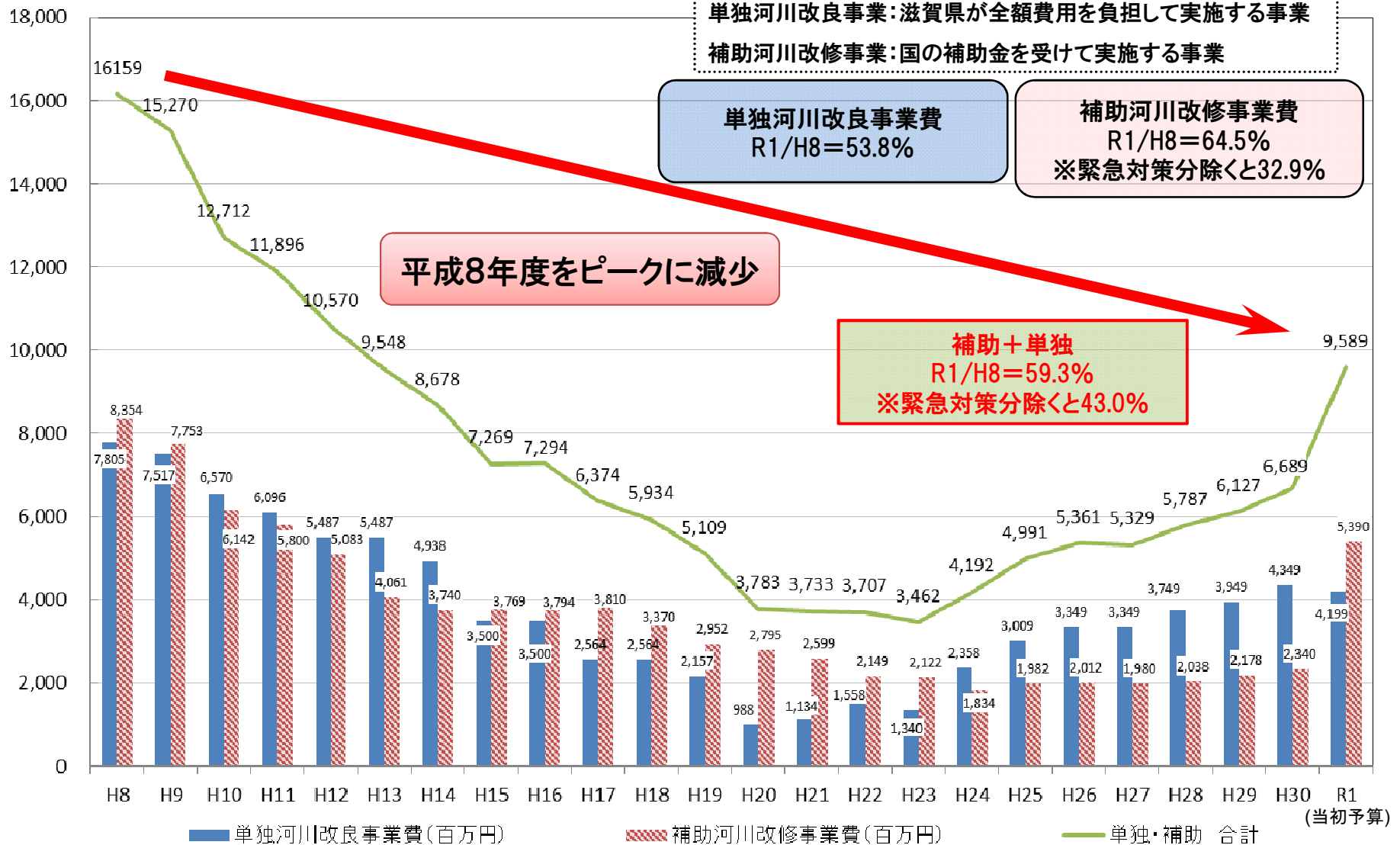


天井川の例

# I-2: 滋賀県の河川整備計画



## ○滋賀県の河川改修事業予算について



## Ⅱ：計画の目標と成果の設定



**計画名：「淀川水系野洲川流域における治水対策の推進(防災・安全)抜本的治水対策」**

### 計画目標

異常豪雨等による浸水被害リスクの増大に対し、安心安全な県民生活を確保するため、野洲川流域家棟川(甲西)の抜本的な治水対策としての放水路整備を推進する。

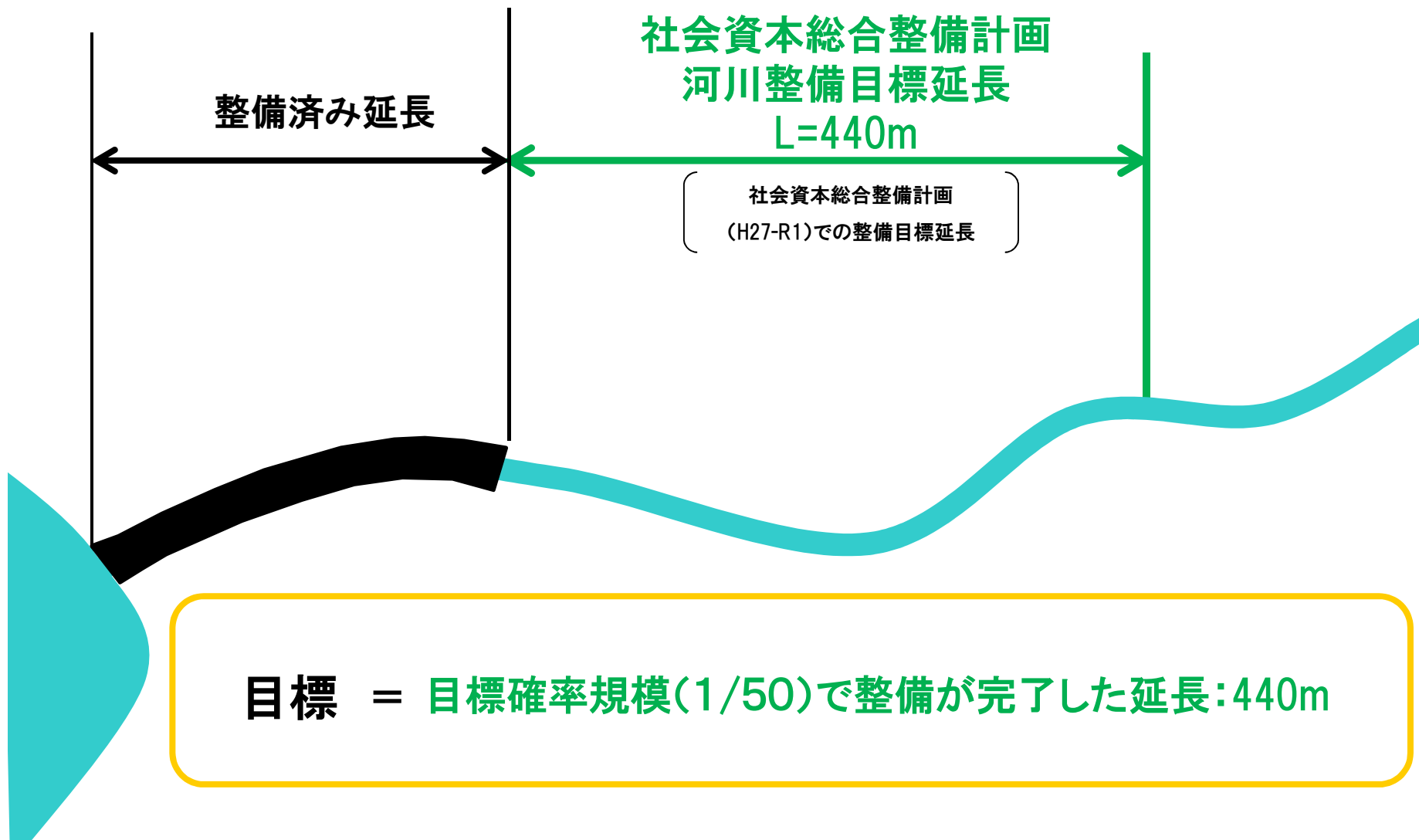
### 成果目標

①家棟川(甲西)において440mの放水路整備を完成する。

# Ⅲ-1: 基幹的対策としての河道整備について

## 指標の定義

50年に1回程度発生する降雨により予想される洪水を安全に流下させる河道整備の延長(m)

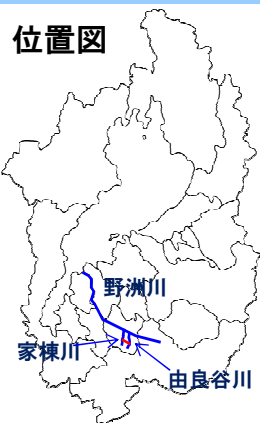


目標 = 目標確率規模(1/50)で整備が完了した延長:440m

# Ⅲ-2: 整備効果事例 <治水事業 (放水路)>



位置図

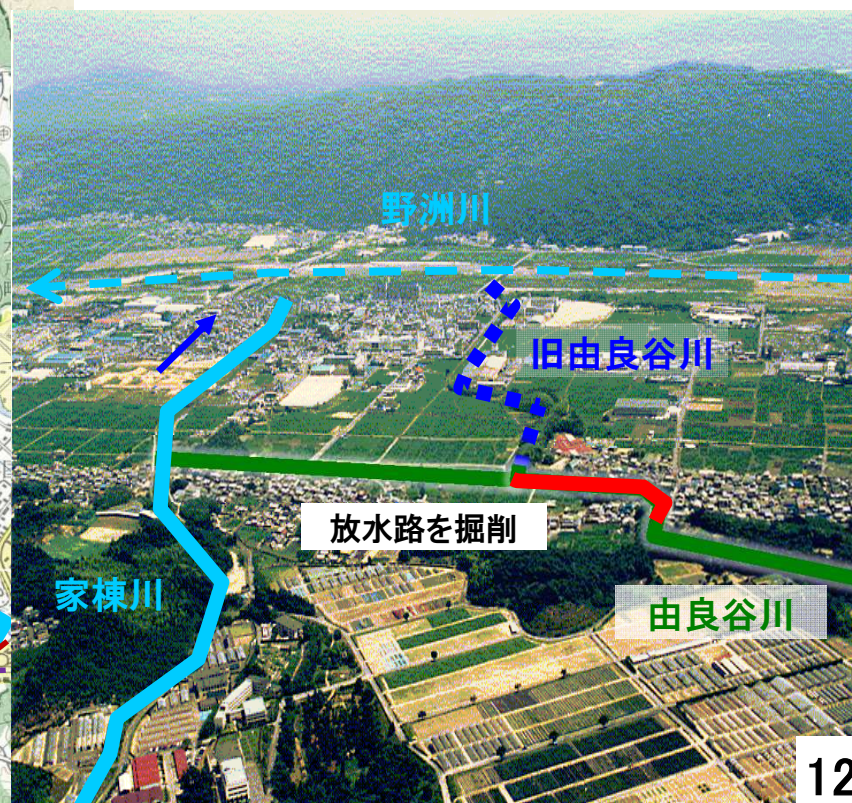
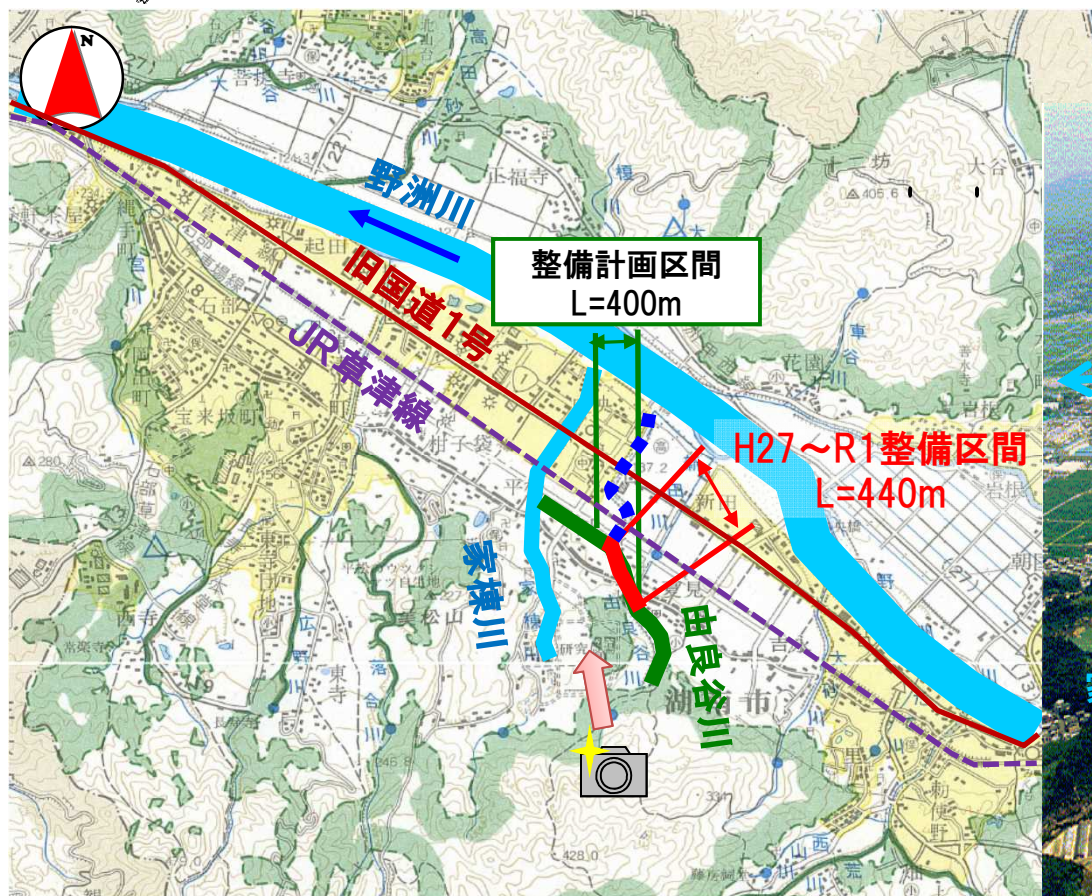


- 河川名: 家棟川(由良谷川)
- 整備箇所: 湖南省市
- 工期: S51~R1
- 整備内容: 放水路
- 全体延長: L=1.3km
- 全体事業費: 36億円

## ■ 整備状況

放水路を440m整備

放水路を掘削し、由良谷川の水を家棟川へ流すことで洪水を防ぐ



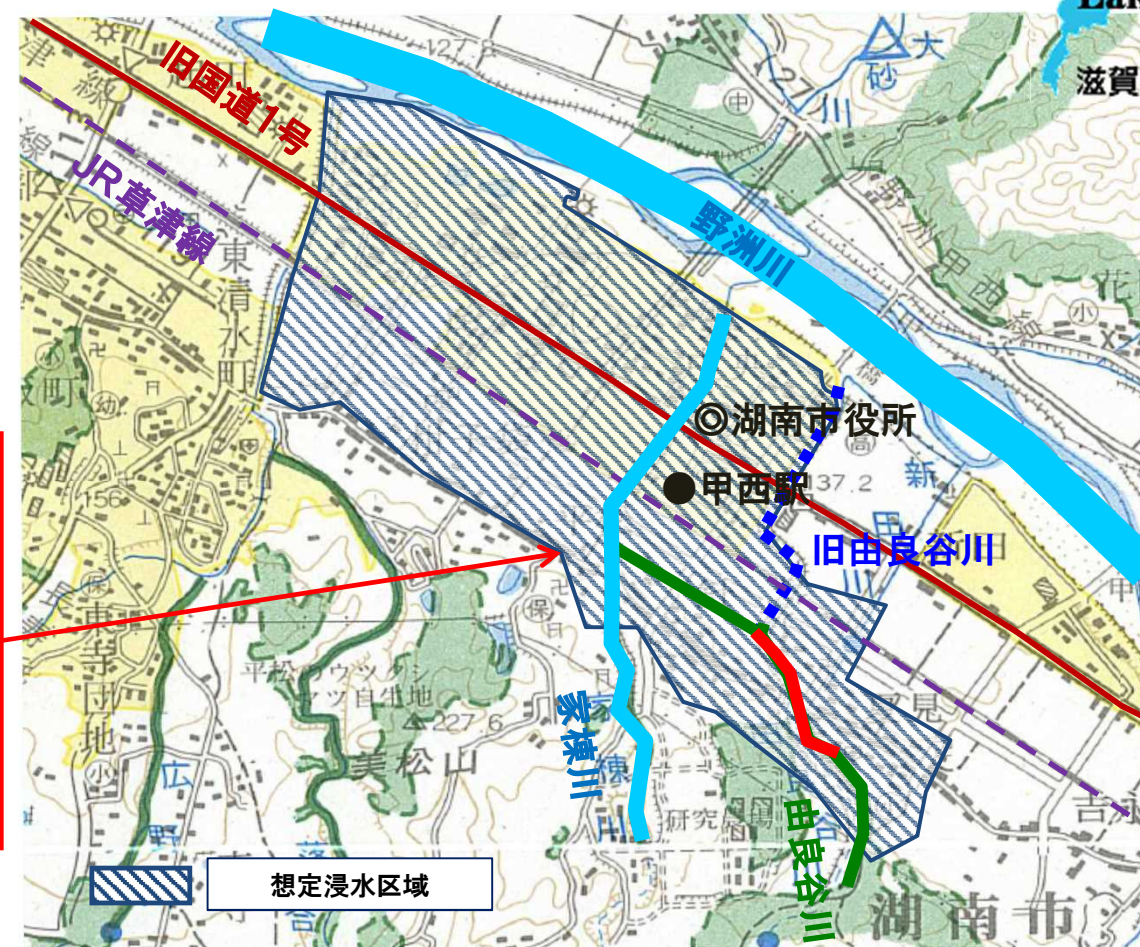
## Ⅲ-2: 整備効果事例 <治水事業（放水路）>

- 河川名: 家棟川(由良谷川)
- 整備箇所: 湖南省
- 工期: S51~R1
- 整備内容: 放水路
- 全体延長: L=1.3km
- 全体事業費: 36億円

50年に一度の雨が降った場合に  
想定される浸水区域内に

- ・人口: 1,644人
- ・家屋: 725戸

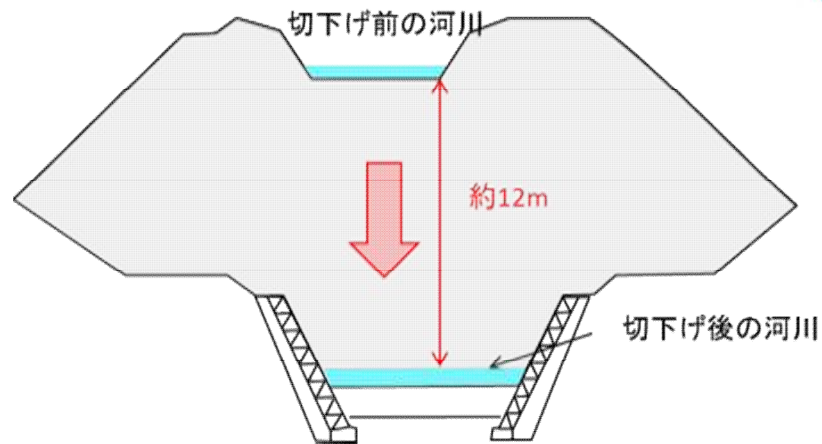
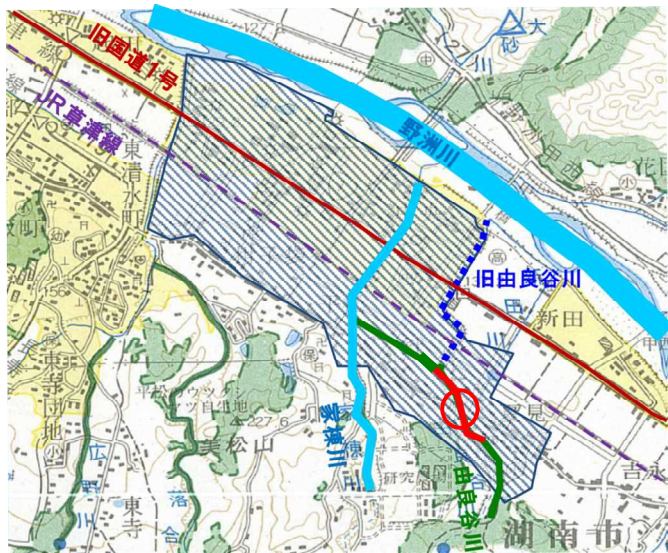
が含まれ、費用対効果(B/C)は  
・B/C=39.2と算定される(H20  
解析資料より)



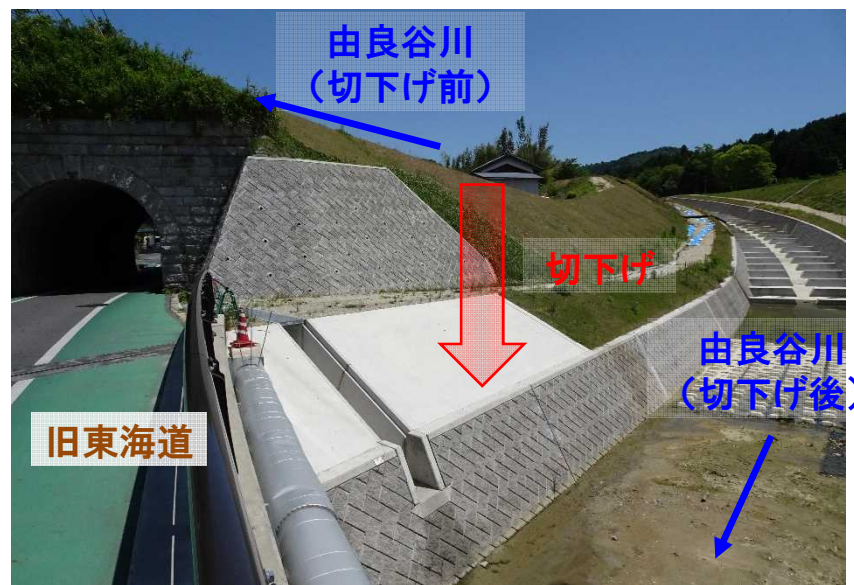
由良谷川では、50年に1回程度の降雨に対応できる河川整備を実施。  
整備事業完了に伴い、想定浸水区域に中心市街地や主要交通幹線(JR草津線・旧  
国道1号)を含む地域の治水安全度を大幅に向上。

# Ⅲ-2: 整備効果事例 <治水事業 (放水路)>

## 工事完成写真



対策イメージ(天井川の切下げ)



## Ⅲ-2: 整備効果事例 <治水事業（放水路）>



### ■事業を巡る社会経済状況等の変化

#### ○湖南省の人口および世帯数

##### 【人口】

平成22年(国勢調査)	→	令和元年	差
54,614人		54,734人	+120人

##### 【世帯数】

平成22年(国勢調査)	→	令和元年	差
20,463世帯		23,090世帯	+2,627世帯

### ■費用対効果分析の要因の変化

(治水経済調査マニュアル(案)平成17年4月(国交省)を参考に算定)

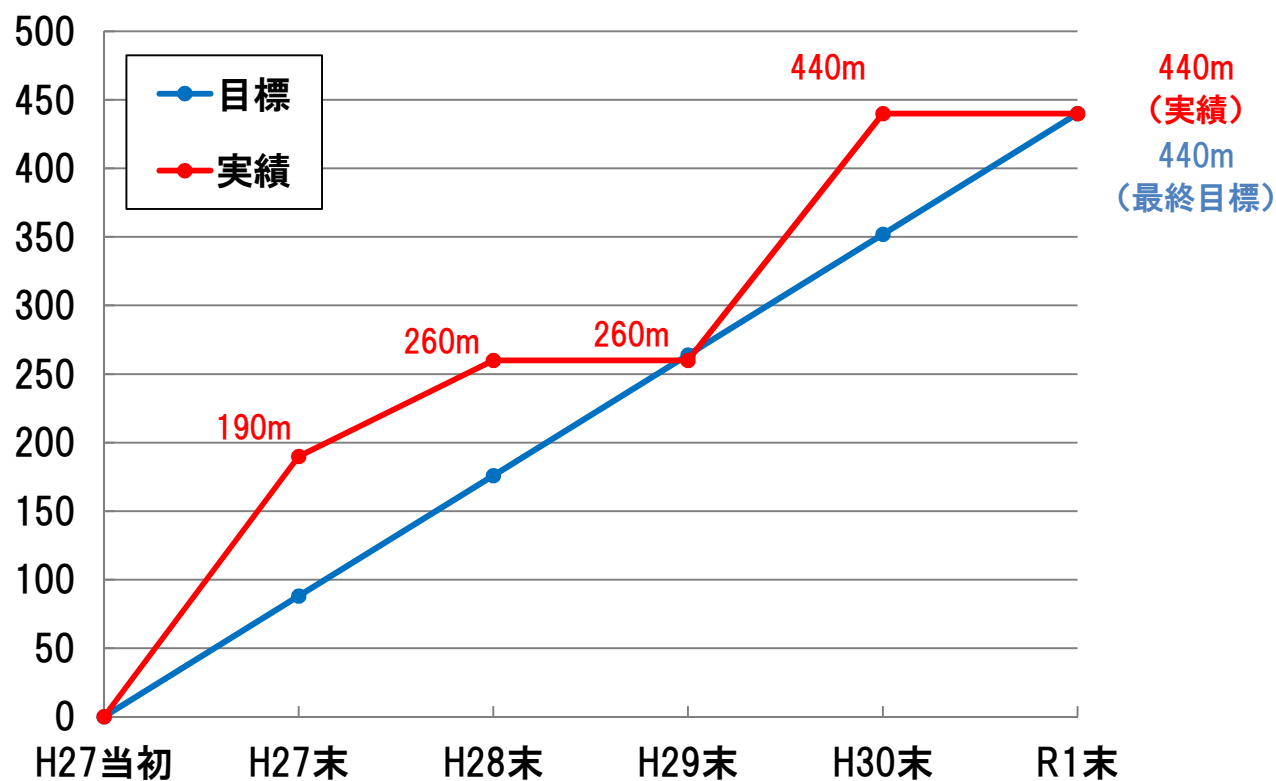
平成20年	→	令和元年
39.2		44.7



## IV:事業の実施結果

### ①「家棟川(甲西)において 440mの放水路整備を完成する」ことについて

平成30年度末で440mの放水路整備が完了。



最終目標値を、達成

## IV:事業の実施結果(まとめ)

### ①事業の進捗状況

⇒440mの区間で放水路の整備が完了した。

### ②事業効果の発現状況

⇒由良谷川では、50年に1回程度の降雨に対応できる放水路整備を実施。

天井川の解消や流下能力の向上を目的とした整備事業完了に伴い、想定浸水範囲に湖南市街地内の多くの住宅地や主要交通幹線(JR草津線・旧国道1号)を含む地域の治水安全度を大幅に向上。

### ③評価指標の目標値の実現状況

⇒最終目標値440mに対して、440mの整備完了となっており、最終目標値を達成。

